

PART

1

OUR VALUE

Introduction
積水ハウス
グループ

10

Section 1
価値創造の
あゆみ

20

Section 2
価値創造の
これから

40

Introduction

積水ハウスグループ

積水ハウスグループ	11
企業理念	13
グローバルビジョンへ込めた想い	14
積水ハウスグループらしさ	15
住まいから創造する価値	17
積水ハウスグループのリーダーシップ	19

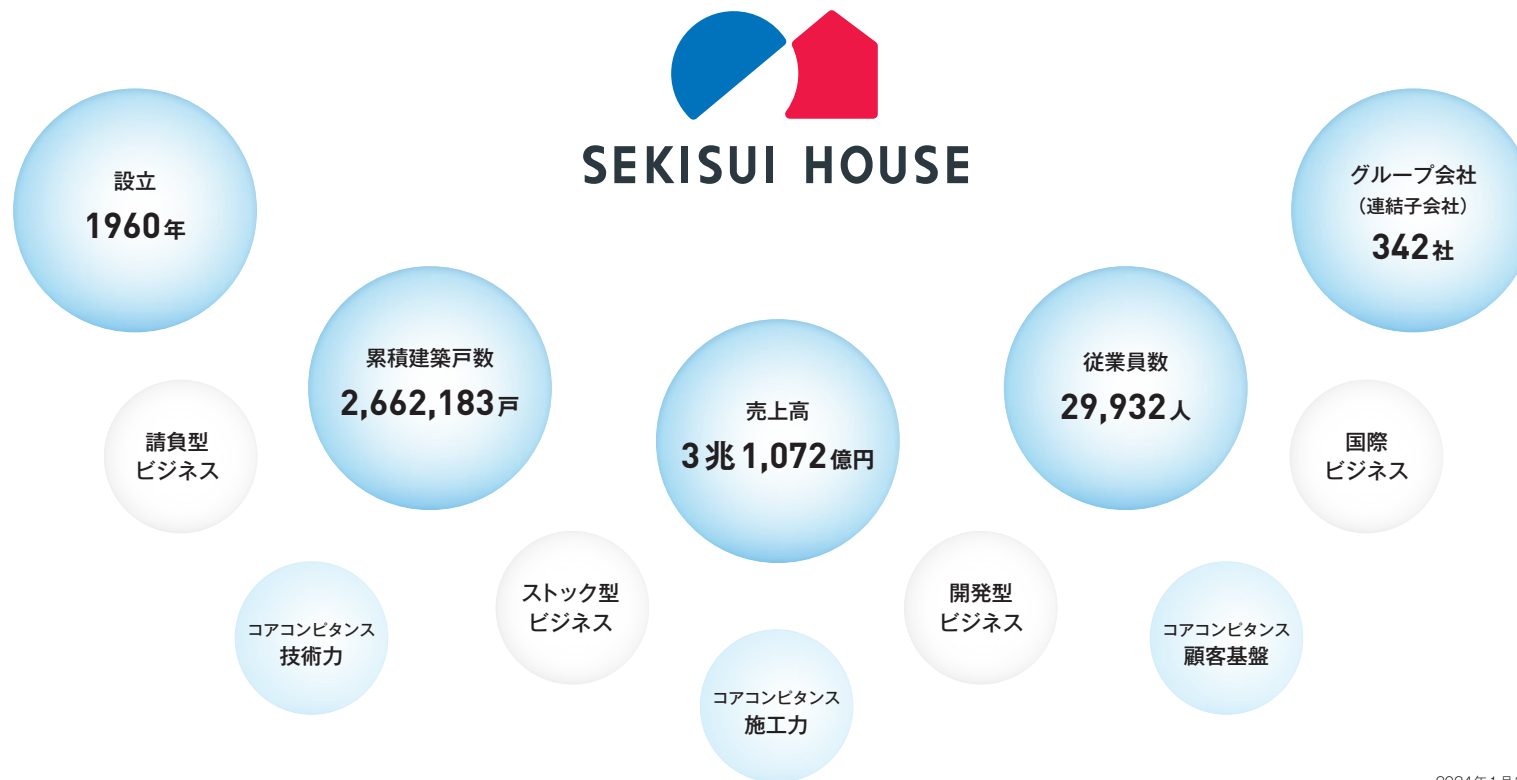
STORYLINE



Point

- 積水ハウスグループの普遍的な価値観や存在意義、目指す姿や「らしさ」について説明
- 住まいから新たな価値を創造していく私たちの考え方について紹介

積水ハウスグループ



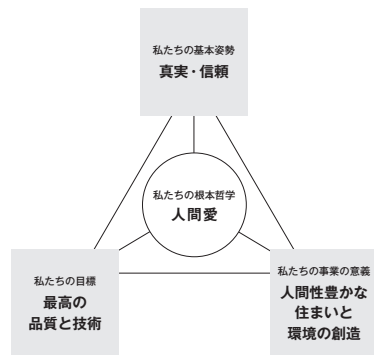
1960年に創業した積水ハウスは、60年以上にわたり住まいと向き合い続け、日本市場での強固な地位を築いてきました。現在では、住まいを基軸とした請負型、ストック型、開発型、国際の4つのビジネスを展開し、アメリカやオーストラリアをはじめとするグローバル市場でも積極的に展開しています。

技術力・施工力・顧客基盤の3つのコアコンピタンスをもとに、29,000人を超える従業員とともに、唯一無二の価値創造へ向けた歩みを進めています。

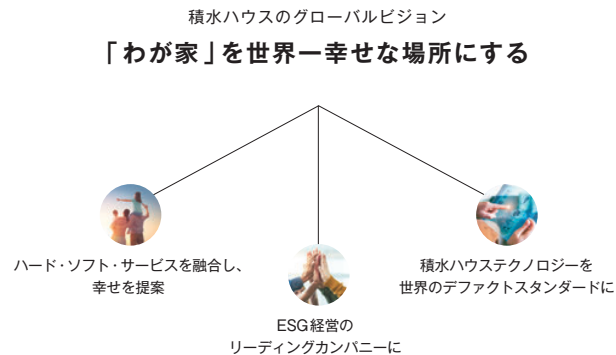
2024年1月31日時点

積水ハウスグループ

企業理念



グローバルビジョン



SEKISUI HOUSE_SHIP

イノベーションで、新しい価値を生みだす。
コミュニケーションで、アイデアを育てる。
自律して、主体的に考え、動く。
感性を大切に、技術と美意識をともに磨く。
「世界一幸せな場所」のためのプロを目指す。

積水ハウスグループの存在意義

創業から約30年後の1989年に、全従業員による討議を経て制定。積水ハウスらしさの根源とし、一人ひとりの心の拠り処、取り組み姿勢を定めたものです。

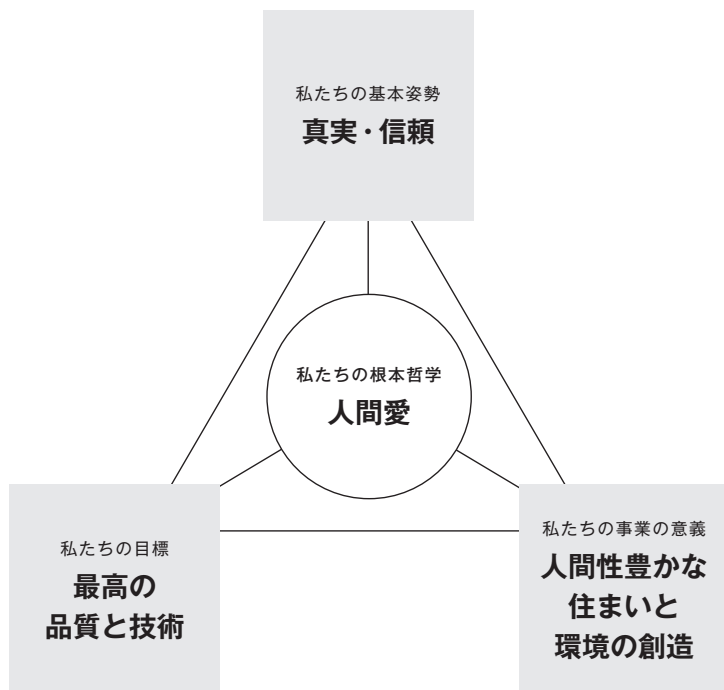
2050年に目指す姿

2020年に、世の中がどう変化していくのかを見据え、2050年に向けて目指す姿としてのグローバルビジョンと、3つのサブビジョンを策定しました。

積水ハウスグループらしさ

積水ハウスグループ従業員が、誇りと責任を持って行動するための道標として「SEKISUI HOUSE_SHIP」を制定しました。

企業理念



人間愛

私たちの根本哲学

人間は夫々かけがえのない

貴重な存在である

と云う認識の下に、相手の幸せを願い

その喜びを我が喜びとする

奉仕の心をもって

何事も誠実に実践する事である。

私たちの原点は、「人間愛」。人々の命と財産を守るために創業した戦後復興時の日本でも、グローバル企業としての歩みを進める今日でも、積水ハウスグループで働く従業員が共通言語として捉え、実践しています。

企業理念は、時代が変わっても脈々と受け継がれ、経営や事業のあり方だけではなく、何のために取り組むのか、どの基準で判断するかという「羅針盤」の役割を果たしています。

企業理念の浸透

企業理念が従業員に浸透していることが当社グループの特徴です。まず、経営層や職責者が率先して企業理念に基づいた行動をとり、日々の業務に取り入れ、考え方や想いをわかりやすく伝えることを習慣化。従業員が自然と企業理念を実践できるよう、年月をかけて浸透されています。また、全従業員を対象に毎年匿名で実施する「ガバナンス意識調査」では、企業理念への意識や行動に関する設問を組み込み、浸透度や実践度の状況を把握しています。

グローバルビジョンへ込めた想い

誰もが願う幸せ、そのかたちは一人ひとり違ってきます。
時代の変化とともに、そのありかたも変わってゆきます。
積水ハウスは、感じる心と技術の力で、そのひとにとって
いちばんの「幸せな場所」となる「わが家」をつくります。
私たちがつくるのは、住まいの「空間」だけではありません。
そこにある「暮らし」の、やすらぎや、たのしみや、すこやかさ。
ひとの絆や、安心の守り、未来への希望など、すべての大切なこと。
どんなときも、どこにいても、帰ることがよろこびとなるような、
かけがえのない、世界にひとつだけの「わが家」です。

「わが家」を世界一幸せな場所にする

私たちが描く未来は、誰もが幸せに暮らしている日常。だからこそ、私たちは、一人ひとりが持つ幸せのあり方までつくりたいのです。

2020年に掲げたグローバルビジョンには、そんな積水ハウスグループの想いが込められています。

積水ハウスグループらしさ

SEKISUI HOUSE_SHIP

イノベーションで、新しい価値を生みだす。

コミュニケーションで、アイデアを育てる。

自律して、主体的に考え、動く。

感性を大切に、技術と美意識をともに磨く。

「世界一幸せな場所」のためのプロを目指す。

「SEKISUI HOUSE_SHIP」は、さらなる価値を創造していく私たちの新しい道標。世界中の積水ハウスグループ従業員とともに、「SEKISUI HOUSE_SHIP」を深めながら、価値創造を紡ぎ続けていきます。

名称へ込めた想い

英語での「-ship」という接尾語は「名詞につけて抽象名詞をつくる」とされ、partnership、leadership、friendship、sportsmanshipなど、よい意味とイメージをもつ語例が数多くあります。私たちはこれに倣い、企業名と組み合わせた「合言葉」としたいと考えました。

「SHIP」で積水ハウスの「らしさ」を表現するとともに、同じ「船」に乗って、同じ目的地を目指すというグループの「連帯感」をイメージしたことばでもあります。

積水ハウスグループらしさ

SEKISUI HOUSE_SHIP 策定プロセス



SEKISUI HOUSE_SHIPの位置づけ

成長の時こそ、原点回帰

1960年に34人の仲間とスタートした積水ハウスは、1990年に従業員が10,000人を超えました。順調に成長を続ける時こそ、創業の原点を見つめ直そうと、従業員とともに、企業理念を軸とした行動規範を制定。共通の考え方や姿勢として、人づくり、職場づくりを推進していくうえでの基準や価値観を示し、行動における期待を定めました。以来、当社グループは飛躍的な成長を遂げてきました。

さらなる成長を、目指す今だからこそ

2024年、積水ハウスグループは、29,000人を超える国内外の従業員とともに、さらなる成長に向けた歩みを進めています。独自の価値観や文化をより深く理解し、一人ひとりのアイデンティティや強みを大切にすることで、積水ハウスグループのあり方を発展させていきたい。そんな想いで、積水ハウスグループらしさを明文化し、「SEKISUI HOUSE_SHIP」を制定しました。

大切にしたのは、従業員の想い

制定にあたり最も重視したのは、従業員が主体となりつくりあげること。60年以上にわたり受け継がれてきた使命感や誇り、組織文化や価値観などについて経営層とも議論を重ね、私たちの考え方や心構えを5つの要素にまとめました。これら5つの要素を、一人ひとりが自らの考えに基づいて行動することで、積水ハウスグループらしさを深めていくことができると考えています。

2020年
グローバルビジョンの策定

新しいフェーズのはじまり

創立60周年を迎えた2020年に、NEXT SEKISUI HOUSE 30年ビジョンを策定。住を基軸に、融合したハード・ソフト・サービスを提供するグローバル企業を目指すため、「わが家」を世界一幸せな場所にする」というグローバルビジョンを策定。2050年に向けて、新たな価値創造への挑戦をスタートしました。

2022年
企業価値観の構築

積水ハウスグループのありたい姿を言語化

社会における積水ハウスグループの役割やこれまで大切にしてきた想いなどを再整理。積水ハウスグループにはどのような強みがあり、それらをどのように活かしていくのか、そして、それらの強みを持った積水ハウスグループは今後どうありたいかなどを議論し、企業価値観として言語化しました。

→ P.14 グローバルビジョンへ込めた想い

2024年
SEKISUI HOUSE_SHIPの制定

一人ひとりのありたい姿を明文化

2022年10月から2024年5月までの期間をかけて、グループ従業員と経営層が意見を出し合い、一人ひとりのありたい姿や大切にしたい要素をまとめました。



ディスカッションの様子

2050年
目指す姿

積水ハウスのグローバルビジョン
「わが家」を世界一幸せな場所にする

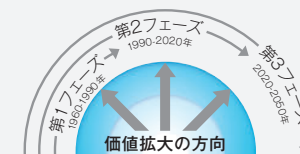


住まいから創造する価値



積水ハウスグループの価値創造は、住まいのあり方を創造するところから始まります。人々の命と財産を守る安全・安心な住まい、快適性や環境に配慮した住まい方、そして現在、それらの価値をさらに拡大しながら、健康・つながり・学びという住まう人の幸せにつながる価値創造に取り組んでいます。

イメージ図が表すもの
コアコンピタンスである技術力・施工力・顧客基盤を活かし、さまざまな技術や思想を生み出すことで住まいのあり方を切り拓くことで社会に貢献する価値を拡大する積水ハウスグループの歩みと価値創造の方向性を示しています。



住まいから創造する価値

人生 100 年時代の幸せを住まいから

人生 100 年時代を迎えるこれからの時代。価値観の多様化や少子高齢化、気候変動など、お客様や社会を取り巻く課題も複雑化しています。また、日本を含む先進国では高度経済成長期の時代を経て、心の豊かさや暮らしの豊かさを重視する傾向が高まっています。

100 年を幸せに暮らし続けるには、いつまでも「健康」で過ごせること、家族や友人たちとのあたたかな「つながり」を育むこと、そして、生涯にわたるスキルや知識を「学び」、経験や思い出を積み重ねること。これらの無形資産が日々の暮らしに彩りを添え、幸せをもたらす重要な要素だと考え、人生 100 年時代の幸せを実践する住まいづくりに取り組んでいます。

つくりたいのは、家だけではない

私たちが描く未来は、誰もが幸せに暮らせる日常。嬉しいと感じる瞬間、美しいと感じる時、幸せが訪れる時間は一人ひとり異なります。だからこそ、一人ひとりが持つ幸せのあり方までつくりたい。

住まいづくりを通じて、社会に新たな価値を創造する使命のもと誕生した積水ハウスは、技術開発や研究を積み重ね、創造と挑戦を繰り返しながら、常に新たな時代を牽引してきました。私たちの歩みは、生活の拠点としての住まいの役割を超え、住まい方という文化や住まう人の未来を切り拓いています。住宅性能の向上や先進的技術の開発をさらに深化させながら、新たな価値を創造し続けていきます。

→ P.21 コーポレートストーリー

より幸せな未来の実現

幸せを実現することは、未来を幸せにすること。すなわち、サステナブルな社会を実現することにあります。美しい住まいやまちなみを未来へ継承していく私たちは、そこで住まう人々にも幸せでいてほしい。その想いのもと、未来を見据えた価値創造に取り組んでいます。

日々深刻化する社会課題の解決をリードする役割を担う積水ハウスグループは、「どのような価値を提供したいのか」ではなく、「どのような価値が必要となるのか」という視点で、お客さま・社会・従業員の幸せに寄与する事業活動に取り組んでいます。より幸せな未来の実現へ向け、社会に貢献する価値を拡大していきます。

→ P.41 未来への約束

サブジョン

ハード・ソフト・サービスを融合し幸せを提案

創業からの使命である人々の命と財産を守るハードとしての住宅の提供、ソフトとしての住まい方提案、住まう人をアシストするサービスの深化。これらを融合し、幸せという新たな価値を創造していきます。



→ P.79 事業戦略

ESG 経営のリーディングカンパニーに

積水ハウスグループの ESG 経営は企業理念の実践。事業活動を ESG と一体化しその実践に努めることで、社会課題の解決につながる新たな価値を創造し、サステナブルな社会と当社グループの持続的な成長を実現していきます。



→ P.91 ESG 経営

積水ハウステクノロジーを世界のデファクトスタンダードに

創業以来培ってきた安全・安心、快適性・環境配慮をあわせ持つ技術やライフスタイル提案。これらの積水ハウステクノロジーを世界へ移植することで、新たな価値を提供することを目指しています。



→ P.86 国際事業

新たな価値創造へ向けベクトルを合わせる

積水ハウスグループのリーダーシップ

CEOから、積水ハウスグループの従業員の皆さんへ

「従業員の皆さんに、積水ハウスグループの資源を存分に使ってほしい」

社長という、会社をつくる立場という印象を持たれるかもしれませんが、それ以上に、“従業員の皆さんと一緒に、どのようにお客様へ新たな価値をつくっていくか”を常に考えています。「新たな価値」と言われると少し身構えてしまうかもしれませんが、小さなアイデアでもお客様に喜んでいただけたのであれば、そこには立派なイノベーションが起きているのです。

“「わが家」を世界一幸せな場所にする”というグローバルビジョンも、当たり前のように、実はこれまでの積み重ねがあったからこそ言える、お客様に寄り添い続ける積水ハウスグループにしかできないことなのです。

新入社員の皆さんによく話すのですが、「社会人になること」とは「社会に対して価値を提供する立場になること」だと思います。積水ハウスグループで「社会人」になるのなら、会社のあらゆる資源をつかって価値を提供した方がきっと楽しいはずですよ。

どんな価値を提供したいかを常に考えて、自分の道を選んでいただけだったらいいと思います。お客様の幸せをつくることであれば、何でもできる会社ですよ。



従業員それぞれがアイデアを出し合い
それをコミュニケーションする。
コミュニケーションの中から
新たなイノベーションが生まれてもいい。
そんな会社になりたいと考えています。

代表取締役 社長執行役員 兼 CEO
仲井 嘉浩

積水ハウスグループ従業員から見た「私たちのリーダーシップ」

「リーダーは、従業員が一步を踏み出す機会をつくる人」

優れたリーダーは、前向きなビジョンでメンバーを鼓舞し、従業員が人として成長する機会を得られる環境をつくる人。組織全体のベクトルを示し、境界線を定義しますが、従業員が自分の道を見つけられるようにサポートし、才能や能力を引き出し、必要な場面ではアドバイスやフィードバックを行います。

私たちの社長は、船の船長のような存在。組織の舵取りを担い、安定した航海を実現するために指揮を執っています。船長は船を安全に目的地に導く責任がありますが、同時に乗組員の安全と幸せも考慮します。時には、荒れた海に直面しますが、その際には、船長の冷静な判断と指導力で乗り越えることが求められます。社長も同様に、組織の方向性を明確にし、従業員に安心感を与え、組織全体がベクトルを合わせ目標に向かって進むことを促し、組織を成功に導くことを使命としています。

積水ハウスグループのリーダーシップにおいて、特に印象的なのは、「これまでのやり方をドラスティックに変えてください」という姿勢。部内で反対されたアイデアを引き上げ、実現へ向けバックアップする姿勢。コミュニケーションが苦手な従業員もいるはずだと、上司に配慮と声掛けを促す姿勢。キャリア採用者に向け「皆さんは変わらないでください」と伝え、意見を出しやすい環境をつくる姿勢。部下が活躍しやすいよう、上司の意識改革を牽引する姿勢。そして、自分より優れた部下を育てることを使命とする姿勢。

意外性を受け入れ、一步を踏み出す機会をつくるリーダーがいること。それは、日々真剣に幸せを追求している私たち従業員にとって大切なこと。このような環境だからこそ、私たちが、積水ハウスグループというプラットフォームを使い、自信を持って新しいことへの挑戦を楽しむことができるのです。

→ P.30 大切にしている価値観

